

B A S T L



**BUDDY**

**取扱い説明書**

(株)アンブレラカンパニー

**[www.umbrella-company.jp](http://www.umbrella-company.jp)**

\* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

# BUDDY

## Preamp Stereo Mixer

Buddy は、ハイブリッドな環境に対応する 4ch のステレオミキサー・モジュールです。

チャンネル A/B は +6dB (×2) のブーストレンジでユーロラックソース (モノラルまたはステレオ) に最適化されています。チャンネル C/D は、信号を最大 +20dB (×10) までブーストできるラインレベルのプリアンプです。

またチャンネル C/D は LEFT 側の端子が TRS ミニステレオ端子にも対応するため、デスクトップ系のシンセサイザー (KASTLE など) を直接入力する事も可能です。

全チャンネルに高音質で低ノイズな NE5532 オペアンプを採用、ゲイン調整によりクリーンなサウンドから、(過大入力気味にすれば) 美しい倍音のドライブサウンドまで、幅広く調整する事ができます。

またチャンネル数を増やしたい場合には、基板上をジャンパケーブルでつないで複数の Buddy をチェーンすることができます。

## Setup Example

- ・ステレオ・ミックスダウン・モジュールとして。

Buddy は、すべてのステレオ/モノラル・ソースをミックスダウンします！

- ・ユーロラックをエフェクトプロセッサとして使用する。

Buddy は、デスクトップ機材の信号レベルをブーストして完璧な AUX センドミキサーとして機能します！

- ・外部のステレオプロセッサをユーロラックモジュラーシステムと使用する。

Buddy は、モジュラーシステムに最適なレベルにシグナルを戻します！

- ・ステレオミックスダウンのレベル調整。

ラインレベル機材の信号レベルを調整して最適化します。

## Features

### ■ Channels A+B:

- DCカップリング
- 100k 入力インピーダンス
- ゲイン  $\times 2$  / +6dB,
- 左チャンネルの入力は右チャンネルにノーマライズされています（左チャンネルのみ接続すれば L/R 両側に信号が供給されます）

### ■ Channels C+D:

- ACカップリング
- 10k 入力インピーダンス
- ゲイン  $\times 10$  / +20dB
- ステレオ TRS 3.5mm ミニジャック入力に対応（左チャンネル側にミニステレオ端子を入力するだけで L/R ミックスバスに接続できます）、または通常の 2 系統の MONO 入力としても使用できます
- 半田ジャンパにて、DCカップリングにも変更できます
- 半田ジャンパにて、ノーマライズのチャンネルを変更できます

### ■ ソフトクリッピング“ZENER”回路（10vpp ミックスダウンステージ）

### ■ NE5532 オペアンプ採用（低ノイズプリアンプ）

### ■ 1k オーム 出力インピーダンス

### ■ 基板上のジャンパを接続することで複数台をチェーン可能（L/R inputs、L/R outputs）

- Buddy フロントパネルの出力に接続がない場合にのみ、ミックスダウン出力がチェーン用のジャンパーに送信されます！

## Technical details

### ■ 消費電流: +12V: <27mA, -12V: <27mA

### ■ 5HP

### ■ 奥行 30mm (パワーケーブル装着時)

### ■ 10pin パワーコネクタ

## **《重要な注意事項》**

本モジュールをユーロラックの電源フレームラックに組み込む場合には、必ず電源ケーブルを電源フレームラックから抜いた状態で行ってください！また接続には必ず付属のリボンケーブルをご使用ください。接続する際はコネクタを接続する向きを絶対に間違えないように、細心の注意を払ってください。必ず複数回確認し、間違いないことをお確かめいただいてから接続するようにしてください。

**赤いケーブルがモジュール、バスボード共に-12V側です。**

以下を再度ご確認ください

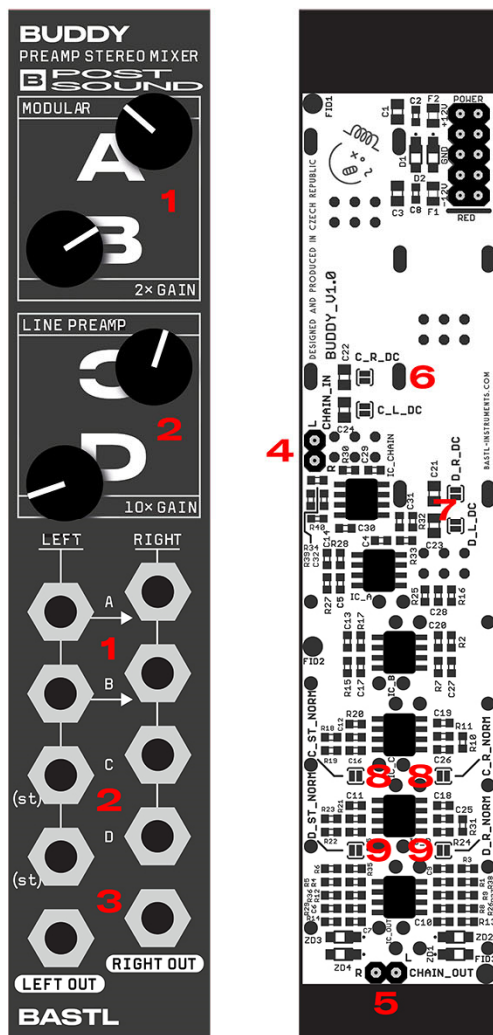
- 1、ラックがユーロラック規格の標準的なものか？
- 2、+12V、-12Vレールのバスボード規格か？
- 3、電源レールは最大の消費電流を超えていないか？

BASTL INSTRUMENTSの製品にはPTCヒューズとダイオードによる保護回路を搭載していますが、間違った接続や使用によるダメージはユーザーの責任となりますので、よくご確認の上でご利用ください。また電源が入った状態で回路や電源バスを手で触れることは、たいへん危険ですので、くれぐれもご注意ください。



## Instruction

\*以下の操作説明は、各イラスト図（フロントパネル、基板）の番号に対応しています。



### 1 Channel A and B

チャンネルAとBは、わずかなブースト（ $\times 2 / + 6\text{dB}$ ）でユーロラックソース（モノラルまたはステレオ）に使用されます。これらは100k オームの入カインピーダンスでDC結合されており、左側の入力は右側の入口にノーマライズされています。モノラルソースのみが接続されている場合は、左チャンネルに接続する必要があり、このモノラル信号のコピーが右チャンネルに送られます。

## 2 Channel C and D

チャンネル C と D は、信号を最大×10 / + 20dB までブーストできるラインレベルのプリアンプであり、追加のアダプターや変換ケーブルなしで、デスクトップ/ガジェット系のシンセなどをダイレクトに接続できるステレオ(TRS)ミニジャック入力にも対応しています。それらは 10k オームの入カインピーダンスで AC 結合されています。もちろんモノラルの普通のパッチケーブル(TS)も使用できます。

## 3 Outputs

ミックスダウン出力(LEFT OUT/RIGHT OUT)は、ミックスダウンステージで 10vpp のソフト Zenner クリッピングを追加できます。出カインピーダンスは 1k オームです。

## 4

複数台の Buddy をチェーン接続してステレオミキシングのチャンネル数を拡張できます。基板上のジャンパーとジャンパケーブルで前に配置される Buddy の CHAIN\_IN から CHAIN\_OUT に接続します。両方のヘッダーで L ラベルと R ラベルのジャンパーを合致させてください。

## 5

複数台の Buddy をチェーン接続してステレオミキシングのチャンネル数を拡張できます。基板上のジャンパーとジャンパケーブルで前に配置される Buddy の CHAIN\_IN から CHAIN\_OUT に接続します。両方のヘッダーで L ラベルと R ラベルのジャンパーを合致させてください。

★NOTE : 信号は Buddy パネル上の出力に何も接続されていない場合にのみこれらのヘッダーに送信されます。この設定により柔軟なパッチ構成可能なミックスダウン構成が可能になります。

## 6

チャンネル C は、左右両方チャンネルの半田ジャンパを閉じることにより、AC 入力構成に変更できます。

## 7

チャンネル D は、左右両方チャンネルの半田ジャンパを閉じることにより、AC 入力構成に変更できます。

## 8

チャンネルCのノーマライズ構成は、C\_ST\_NORMを切断し、C\_R\_NORMはんだジャンパーを閉じることにより、チャンネルAまたはBと同じに変換できます。

## 9

チャンネルDのノーマライズ構成は、C\_ST\_NORMを切断し、C\_R\_NORMはんだジャンパーを閉じることにより、チャンネルAまたはBと同じに変換できます。

